

# 石巻市 地域おこし協力隊 隊員紹介

地域おこし協力隊とは、都市地域から地方に移住し、新たな担い手として「地域協力隊活動」に従事しながらその地域での定住・定着を図る、総務省の制度です。  
石巻市では平成29年度から導入しており、現在8名の隊員が地域活性化に向けて活動しています。  
☎ SDGs移住定住推進課(内線4228)

**金敷 咲**

転出元 千葉県香取市  
任期 令和3年4月から

北上地区にある一般社団法人イシノマキ・ファームで従事しています。ホップの6次産業化商品開発を中心に活動しています。  
☎ イシノマキ・ファーム ☎25-4144

**弘田 光聖**

転出元 千葉県浦安市  
任期 令和3年5月から

石巻地区にある一般社団法人フィッシャーマン・ジャパンで従事しています。石巻の水産加工、流通業に携わる若手経営者を中心としたメンバーを巻き込み、水産業の活性化に向けて活動しています。  
☎ フィッシャーマン・ジャパン ☎98-7071

**山下 知晃**

転出元 宮城県仙台市  
任期 令和4年3月から

石巻地区にある一般社団法人日本カーシェアリング協会で従事しています。半島沿岸部へのコミュニティーカーシェアリングの普及などに向けて活動しています。  
☎ 日本カーシェアリング協会 ☎22-1453

**清水 一宏**

転出元 神奈川県横浜市  
任期 令和3年11月から

ふあん★がーるや清水狸の芸名で石巻をお笑いで盛り上げようと活動しています。最近は石巻観光大使の萌江ちゃんや「ほやもや」というコンビ名でM-1グランプリにチャレンジしています。  
✉ kazuheru@yahoo.co.jp

**小暮佐知子**

転出元 宮城県多賀城市  
任期 令和4年7月から

雄勝地区にある一般社団法人雄勝花物語で従事しています。主に雄勝ガーデンパーク内でハーブ事業に取り組んでいます。  
☎ 雄勝花物語 ☎090-9037-4593

**米倉眞喜子**

転出元 東京都品川区  
任期 令和4年7月から

河北地区にある一般社団法人りぶらすで従事しています。地域共生社会を目指した多世代交流の拠点づくりに取り組んでいます。  
☎ りぶらす ☎98-8957

**米倉 勝巳**

転出元 東京都品川区  
任期 令和4年7月から

河南地区にある株式会社田伝むしで従事しています。ササニシキ米および行者ニンニクの普及拡大などに取り組んでいます。  
☎ 田伝むし ☎72-2480

**松本 翼**

転出元 埼玉県富士見市  
任期 令和4年7月から

石巻地区にある株式会社ヤマナカで従事しています。牡蠣生産者、漁協との連携強化および輸出向け冷凍殻付牡蠣の生産体制構築に取り組んでいます。  
☎ ヤマナカ ☎24-3373

## 身近なことから！SDGs

Sustainable (サステナブル:持続可能な)  
Development (ディベロップメント:開発)  
Goals (ゴールズ:目標)

SDGs(持続可能な開発目標)は、地球上に住む全ての人々が暮らしやすい社会を将来に引き継いでいくための世界共通の17の目標です。

SDGsと聞いて、「なんだか難しそう」「遠い世界の話」と思いませんか?実はSDGsの取り組みはとても身近にあり、日常生活の中ですでに取り組んでいることや取り組めることがたくさんあります。そんな「実は身近なSDGs」について、紹介します。 ☎ SDGs移住定住推進課(内線4224)

### 未来の海のためにできること

現在、増加の一途をたどる海洋ごみがそのまま増え続けると、2050年には魚よりプラスチックごみの量が多い海になるという予測があります。海洋ごみの個数の内訳として最も多いものは釣り糸や食品の容器・包装袋など、プラスチック製のものです。直接海にごみを捨てるだけでなく、生活の中で出たごみが最終的に海に流れつく場合もあることから、一人一人が日常生活でごみを出さない心がけが大切です。

#### 私たちができること

- マイバッグ・マイボトル・マイ箸を持参して、使い捨て容器等の使用を減らす
- 食品の保存はふた付き容器を使い、なるべくラップの使用を減らすなど

### 漁業の認証制度



▲認証制度の一つであるMSC認証制度によるMSC「海のエコラベル」

現在、世界的に過剰漁獲の増加や、海洋環境の悪化が進み、このままだと魚の生態系を壊してしまい、魚が食べられなくなる可能性があります。そのような状況の中で、**水産資源や環境に配慮し、適切に管理された持続可能な漁業に関する認証制度があります。そうした認証漁業で獲られた水産物の証として認証ラベルが付けられます。**スーパー等に並んでいる商品も増えてきていますので、ぜひ手に取って見てはいかがでしょうか。

## 海の環境編

### 磯の環境について学びました!



▲令和4年度第1回環境市民講座「磯の観察会とビーチクリーン」参加者の皆さん

6月18日、北上町十三浜を会場に、第1回環境市民講座「磯の観察会とビーチクリーン」が開催され、潮だまりに生息する生き物の観察や、生き物が棲みやすいように、浜辺のごみ拾いを行いました。環境市民講座は、季節ごとにさまざまなテーマを用意しておりますので、ぜひ、ご参加ください。  
☎ 環境課(内線3367)

### 環境フェアで講演会を開催します



▲高砂淳二氏

講演テーマ「石巻から地球を想う」

11月13日(日)午後2時からマルホンまきあーとテラスにて入場無料

渡波出身の自然写真家・高砂淳二氏が、世界中を長年旅し、海中やその他自然の写真を撮影する中で感じたことを、撮影した多数の写真とともにお話します。大きな視点からだけでなく、「地球の中の石巻」という視点からも見て、海やその他自然について一緒に考えてみましょう。 ☎ 環境課(内線3368)



# みんなのた場



大和

## 雄勝地区・名振

恵士郎さん (10歳 雄勝小5年)  
恵信さん (8歳 雄勝小3年)  
咲恵ちゃん (5歳 河北幼稚園長尾)

海を見渡せる高台、雄勝町名振で漁業を営む大和恵一郎さん(40)と千恵さん(39)夫妻の間には、元氣な3人の子どもがいます。2人の男の子と1人の女の子の3きょうだいですが、ときにけんかも交えながら仲良く生活しています。

## 浜育ちで元気いっぱい

長男の恵士郎さん(雄勝小5年)はとにかく活発。近くの海で泳ぐのが好きで、学校では鬼ごっこやサッカーで体を動かしています。次男の恵信さん(同3年)も海で遊んだり、サッカーが好きだと言います。長女の咲恵さん(5)は、絵



海を望む高台で両親と共に3きょうだいがのびのび暮らしています

をかくの大好き。海の生き物を描いたり、切り絵でいろんな表現を楽しんだり、想像力豊かです。  
恵一郎さんは定置網やワカメ養殖で生計を立てる生粋の漁師。そんな父親を見て育った恵士郎さんや恵信さんは、一緒に船に乗って漁業の手伝いをすることもあり。夏休みにはウニのカゴ上げを手伝いに海に出て、楽しかったと言います。  
名振東漁港の岸壁がすぐ近くにあるので、秋にはみんなでアジ釣りを楽しむなど、常に海が近くにある生活は、自然の豊かさを学べる場にもなっています。  
3人はとても仲がいいですが、テレビゲームの順番などでけんかになることもしばしば。それもまた元気いっぱい証です。子どもたちのにぎやかな声が家の中には常に響いています。  
3人に将来の夢を聞くと、恵士郎さんは「すし屋になりたい」といいます。「すしでおいしい雄勝の海産物を食べてもらって、良いところだと知ってほしい」と地域愛をにじませました。恵信さんは「お父さんがかっこいいので、同じ漁師を目指したい」と目を輝かせます。咲恵さんも「おすし屋さんになりたい」と笑顔を見せてくれました。  
恵一郎さん、千恵さん夫妻は「少年漫画の主人公のような強さと優しさを合わせ持つ子に育ってほしい」と思いを込めていました。

## 石巻専修大学

### 「研究室をのぞいてみたら...」

石巻市と石巻専修大学は、地域社会の発展と人材育成および学術の振興を図ることを目的に連携協定を結んでおり、協力して研究活動が行われています。ここでは、地域連携事業の研究成果の一部をご紹介します。

#### その3 石巻市SDGsモデル事業グリーンスローモビリティ研究

石巻市は2020年にSDGs未来都市に選定され、グリーンスローモビリティを活用した本市事業は、先駆的な取り組みとして自治体SDGsモデル事業に選定されました。ハイブリッド車の基幹電動ユニットのリユースによる地域活用型の電動車両を地域の事業者が製作し、運用する環境にやさしく産業発展へも貢献する未来型のプロジェクトです。石巻専修大学では、人材育成と技術担保の役割から始まり、さらに将来型のグリーンスローモビリティの研究に進んでいます。



牡鹿半島部は高齢化と人口減少が続く地域です。毎日の生活のためには移動手段は欠くことのできないものであるため、免許返納後にも移動に困らないために、自動運転車の早期の実用化を目指して自律自動で小型電気自動車を走らせる実験をしています。目印をカメラで捉えながら自動で走行するのですが、さまざまな色でも認識できることがわかってきており、カメラのみの簡易なシステムでの自動運転の可能性が見えてきています。

現在、人の乗れる大きさの自動運転車を仕立て、適切な目印の検討を進めています。この車両を使って、乗車可能なサイズの車両からカメラで撮影した画像を使って路上の目印として認識できるものを探索しています。これにより自動運転のための道路インフラの要件を出していき、簡易なシステムでの自動運転を実用化する計画です。

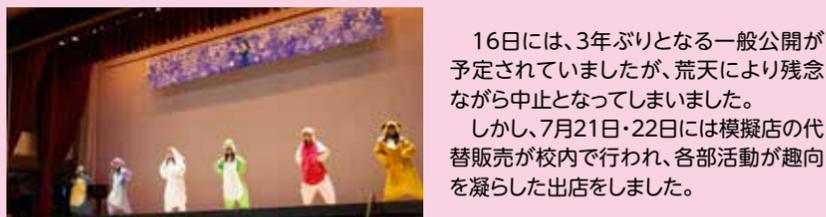


## 石巻市立桜坂高等学校

### 桜坂だより

第31号

こんにちは、桜坂高等学校です。7月15日に桜坂高校の文化祭である「桜華祭」が開催されました。吹奏楽部や合唱部の発表、また有志によるダンスやカラオケの発表など、大いに盛り上がった1日となりました。



16日には、3年ぶりとなる一般公開が予定されていましたが、荒天により残念ながら中止となってしまいました。しかし、7月21日・22日には模擬店の代替販売が校内で行われ、各部活動が趣向を凝らした出店をしました。

α化米粉が入った袋にお水を入れるだけでお餅ができてちゃう!! 災害非常食として人気の桜坂生がパッケージデザインした「チカラモチ」も販売しました。



# 河南 優しくともる7千個の灯籠

3年ぶりに和瀬夏まつり



和瀬水辺の楽校で8月15日、盆の恒例「和瀬夏まつり」が行われました。コロナ禍で令和2、3年が中止となったため、3年ぶりです。河川敷には、色とりどりの陸上灯籠約7千個が並び、淡く優しい光を放って来場者を迎えました。ステージイベントではコンサートや和太鼓演奏なども行われ、最後は花火の打ち上げで盛大に幕を閉じました。



# 石巻 初イベントでこども映画祭

シアターキネマティカ

石巻市中央の空き家を改修した複合エンタメ施設「シアターキネマティカ」で初のイベントとなる「いしのまきこども映画祭」が8月13日、14日に行われました。出版社の(株)ポプラ社の絵本が原作の「おまえうまそうだな」が2日間上映され、小学生らと保護者合わせて約80人が楽しみました。14日には石ノ森萬画館の外観をスクリーンに「映画かいつゾロZZのひみつ」も上映されました。



# 河北 「上品の郷」全国第2位に選ばれる

全国道の駅グランプリ

利用者満足度調査(旅行情報誌「じゃらん」が実施)による「全国道の駅グランプリ2022」において、上品の郷が全国約1,000カ所の道の駅の中から第2位に選ばれました。テナントなどのリニューアルやコロナ禍でも可能なイベントの実施など、スタッフの努力が実を結んだ結果ではないでしょうか。今後も目が離せません。



# 雄勝 夏の心意気 初の花火大会

音と光のショーに帰省客満足

おがつ2022夏花火大会が8月14日、道の駅硯上の里おがつで行われました。昼は子ども向けの縁日、夕方からは盆踊り、そして日没後は雄勝湾から約500発の花火が打ち上がり、住民や帰省客らが音と光のショーを楽しみました。震災から11年目の今年には地域独自として初開催しました。



# 桃生 脳トレ体操などで汗流す

長生大学・教養講座

桃生町長生大学の教養講座が8月17日、桃生公民館で開かれました。「カラオケ」「書道」「元気アップ」の3つの講座の受講者が一堂に会し、地元のピーチダンベルクラブ代表の伊藤たか子さんの指導で元気アップ教室を楽しみました。脳トレ体操やボールを使ったリレーに取り組み、あちらこちらで笑い声が上がっていました。



# 北上 庭や野山の草花で茶花

一期一会の心で親しむ

茶席に生ける茶花の教室が8月31日、北上公民館で開かれました。受講生が庭や野山に咲く季節の草花と一輪挿しを持参して自然の姿のように生けていき、講師の大森宗憲さん(裏千家茶道助教授)の手直しを受けて仕上げました。昨年度に続く教室で、今年は10月までの全3回です。13人の住民が交流しながら、ひと時しか持たない茶花に一期一会の心で親しんでいます。



# 牡鹿 クジラの炭火焼きに舌鼓

3年ぶり牡鹿鯨まつり

捕鯨のまちの文化を伝承する牡鹿鯨まつり(実行委員会主催)が8月21日、ホエールタウンおしかで行われました。ツチクジラの炭火焼きが無料で振る舞われたほか、新しくなった捕鯨船前広場のステージで地元小中学校の太鼓演奏や歌謡ショー、お笑いライブなどがあり、多くの客でにぎわいました。新型コロナの影響により3年ぶりの開催となり、夜には鮎川港で約500発の花火が打ち上げられました。

